

経済同友会著、小林喜光監修「<sup>ききかん</sup>危機感なき<sup>ゆ</sup>茹でガエル<sup>にほん</sup>日本—<sup>かこ</sup>過去の<sup>えんちようせんじょう</sup>延長線上に<sup>みらい</sup>未来はない」中央公論新社、2019年3月25日刊を読む

## 危機感なき茹でガエル日本—過去の延長線上に未来はない

### Japan2.0最適化社会 経営者宣言

グローバル化、デジタル化(AI化)、ソーシャル化が進展する「Japan2.0」では、多様な「個」の力、人間性が社会を変える原動力となる。こうした時代に、我々経営者は、国家価値の最大化の追求と、社会の持続可能性向上との好循環をつくるために、先進的な提言と行動により、以下の変革を率先垂範する。

#### 1. 企業価値の最大化

企業が目指す世界のビジョンを掲げ、その実現に向けて自ら課題を設定し、事業を通じて解決することにより、企業価値を最大化する。そのために、無形・有形の経営資源を最適活用するマネジメントを行う。

#### 2. イノベーション創出力の強化

新たな価値創造の促進に必要な、先進技術の迅速な社会実装や事業の拡張性などを実現するために、グローバルなOpen&Closed戦略と、多様な個性、能力、知が融合するイノベーション・エコシステムの構築を推進する。

#### 3. 多様な「個」の活躍の促進

ダイバーシティの向上・浸透に向けて、国籍、年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、個人が活躍する環境を整備し、多様な個性、能力、志を集結することにより、活力ある社会をつくる。

#### 4. インクルーシブな社会の構築

価値観の多様化や技術革新による変化に誰も取り残されることのないインクルーシブな社会の実現に向けて、人々が相違点や利害を越えて歩み寄り、課題を解決していく「最適化する能力」(最適化能)を高める。

#### 5. グローバル化、デジタル化(AI化)、ソーシャル化の時代を生き抜く人材の育成

人間性を磨く倫理、基礎的学力、イノベーションを生む独創性、世界に通じる高度専門性やリベラルアーツ、経済社会の変化に応じた能力・スキルなど、学校教育からリカレント教育までの一貫した人材育成を支援する。

## 6. 社会のデジタルトランスフォーメーションの加速

企業、政府、地方自治体など、社会を構成する組織体のデジタルトランスフォーメーションを加速する。目指す社会や解決すべき課題に対し、AIによるデータ解析などデジタル技術を用いて、事業や政策を設計していく。

## 7. 企業統治改革の加速と国およびあらゆる組織のガバナンス強化

企業統治改革を加速し、果敢なリスクテイクとコンプライアンスの徹底を経営の両輪とする。国の統治機構改革、大学へのガバナンスコード導入など、財・サービスを提供するあらゆる組織体のガバナンスの強化を促す。

## 8. 豊かさを広く持続的に享受できる世界の実現

多国間自由貿易体制、水や食料、地球環境の持続可能性向上、パリ協定の長期目標達成に貢献する。また、自由で公正なデータの利活用や技術革新に伴う規制整備の議論に積極的に参加し、グローバル・スタンダードの確立を主導する。

## 9. 目指す社会を共有し、変革へのダイナミズムを創出

「Japan2.0」が目指す最適化社会の実現に向けて、若年世代をはじめとした社会を構成する諸集団を含む、企業の広範なステークホルダーと共に議論し、行動することにより、社会変革への共感を呼び起こす。

## 10. 弛まぬ研鑽と自己変革

将来世代への持続可能な社会の継承と、そのために必要な改革や新たな挑戦を使命に、経営者としての研鑽に励み、自己変革を続けていく

P202～203

### <コメント>

公益社団法人 経済同友会 小林喜光代表幹事の、1500名の会員とともにまとめ上げた卒業論文。日本社会への具体的提言集。是非、ご一読を。

2019年3月27日(水) 林明夫